

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成 27 年 3 月の動向

- 広島市総合指数（103.0）は前月比で3か月ぶりの上昇。前年同月比は21か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（102.6）は前月比で5か月ぶりの上昇。前年同月比は21か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（100.3）は前月比で2か月連続の上昇。前年同月比は18か月連続の上昇。

## 2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	103.0	0.5	2.7
生鮮食品を除く総合指数	102.6	0.6	2.5
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	100.3	0.4	2.1

## 3 前月からの動き

～被服及び履物, 教養娯楽, 交通・通信が上昇～

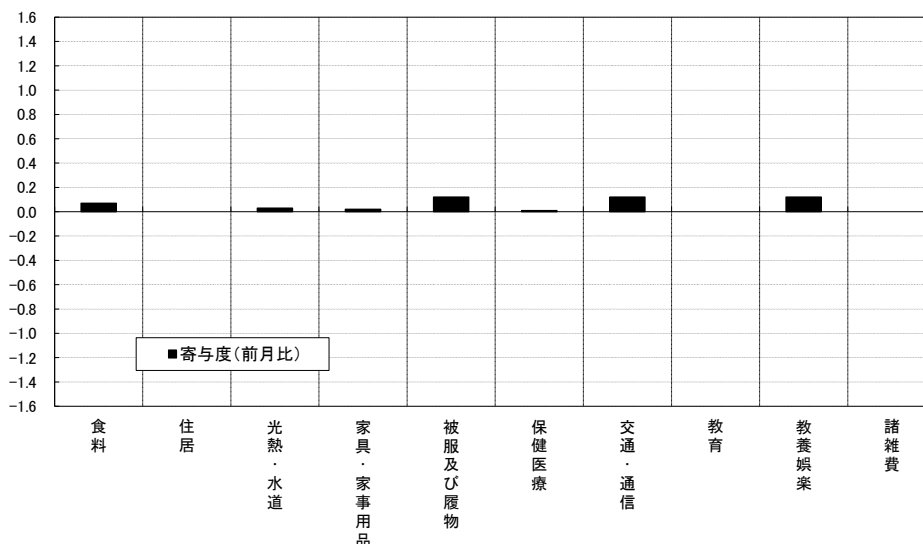
### (1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	103.0	106.9	99.6	113.4	93.1	103.0	100.3	102.7	98.2	97.1	108.4
前月比 (%)	0.5	0.2	0.0	0.3	0.4	2.8	0.2	0.9	0.0	1.1	0.0
寄与度	0.5	0.07	0.00	0.03	0.02	0.12	0.01	0.12	0.00	0.12	0.00

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 被服及び履物：洋 服（前月比 7.2%, 寄与度 0.13）等
- 教 養 娯 楽：教養娯楽サービス（前月比 1.2%, 寄与度 0.07）等
- 交 通 ・ 通 信：自動車等関係費（前月比 1.3%, 寄与度 0.10）等

図 1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
洋服	7.2%	果物	▲3.5%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	1.3%	シャツ・セーター類 (婦人Tシャツ[長袖] 等)	▲2.2%
調理食品 (豚カツ 等)	2.2%	菓子類 (ポテトチップス 等)	▲1.0%
教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	1.2%	魚介類	▲0.6%
飲料 (コーヒー豆 等)	2.3%	家事用消耗品 (洗濯用洗剤 等)	▲1.4%

4 前年同月からの動き

～食料, 教養娯楽は上昇, 家具・家事用品は下落。～

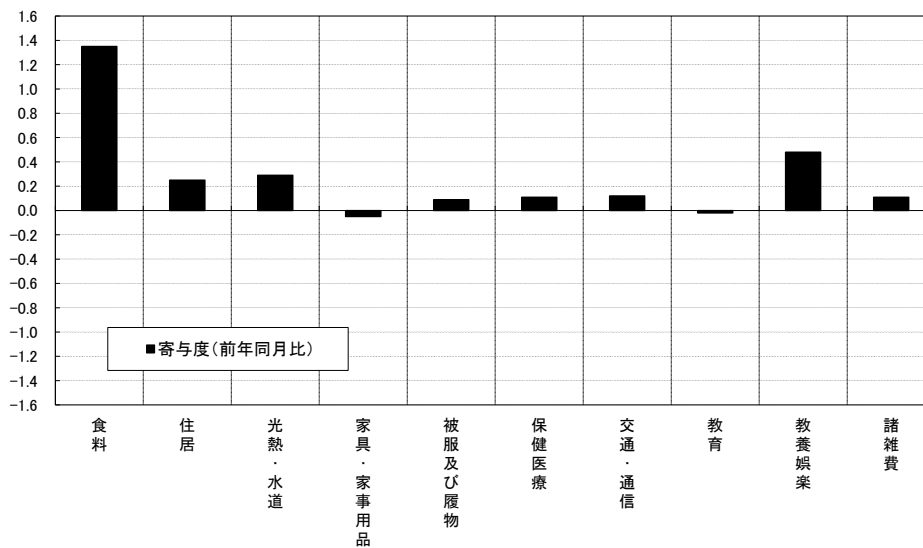
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	2.7	5.3	1.3	3.5	▲1.2	1.9	2.5	0.9	▲0.7	4.5	1.7
寄与度	2.7	1.35	0.25	0.29	▲0.05	0.09	0.11	0.12	▲0.02	0.48	0.11

(参考) 主な要因となっている10大費目について, 寄与の大きかった中分類項目

食 料 : 外 食 (前年同月比 5.1%, 寄与度 0.25) 等  
 教 養 娯 楽 : 教養娯楽サービス (前年同月比 4.7%, 寄与度 0.28) 等  
 家具・家事用品 : 家庭用耐久財 (前年同月比 ▲6.0%, 寄与度 ▲0.08) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
教養娯楽サービス (月謝[ダンス] 等)	4.7%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲1.3%
外食 (焼肉 等)	5.1%	穀類 (うるち米 等)	▲4.1%
調理食品 (すし(弁当) 等)	7.6%	家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	▲6.0%
肉類 (牛肉[国産品] 等)	9.2%	補習教育 (補習教育[小学校] 等)	▲9.0%
交通 (高速自動車国道料金 等)	7.9%	シャツ・セーター類 (婦人Tシャツ[長袖] 等)	▲5.6%